

骨そしょう症の薬

(ビスホスホネート剤)を服用している方へ

この薬を服用している患者さんが歯を抜いた後に、ごくまれにあごの骨に感染したり、炎症が残ったりする方が報告されています。重篤な副作用は注射剤が多いですが経口剤で認められています。

《販売されているビスホスホネート製剤の商品名》

注射剤 : オンクラスト、テイロック ・ アレディア ・ ビスフォナール ・ ソメタ

経口剤 : ダイドロネル ・ フォサマック、ボナロン ・ アクトネル、ベネット

基本的には比較的安全な薬ですので、薬は必ず服用を続けてください。そして、日常の歯みがきを十分にしてください。

(社) 柏歯科医師会では、患者さんが服用しているお薬の副作用で、お口のトラブルが起きないように研修し、お薬の使用方法についての知識を習得しています。



(社) 柏歯科医師会

お問い合わせ先 ☎04-7163-5260



この薬を服用している方へ



- ① 投与が予定された方は、お口の清掃と歯科検診をしましょう。
- ② 投与中の方は、歯周病も顎の骨の病気であり、抜歯を予防するために、定期的な歯科受診が必要となります。
- ③ 万一、歯を抜く場合は主治医にビスホスホネートを服用中であることを歯科医師に伝えて、感染に注意して抜歯するか、口腔外科病院で抜歯することが望ましいと思われます。



(社) 柏歯科医師会では、医師会や薬剤師会と協力することで、地元で安心して歯医者さんに診てもらえるようにサポートしています。また、お口に関する情報をお医者さんや薬剤師さんから得ることもできます。

(社) 柏歯科医師会

お問い合わせ先 ・04-7163-5260